

兵庫県下の経済動向

平成29年6月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、緩やかな回復基調を続けている。
個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移している。
また、設備投資は増加し、住宅投資は持ち直している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が9か月ぶりに前年実績を上回った。

乗用車販売は、7か月連続して前年実績を上回った。

家電販売は、持ち直している。

設備投資は、増加している。

住宅投資は、全体で2か月連続して前年を下回った。

公共工事請負金額は、独立行政法人等で著増、兵庫県で大幅増、神戸市を除く市町で2桁増となるも、国、その他の団体、神戸市で大幅減となった。

貿易は、EU向けが減少したものの、輸出は、米国、中国、アジア向けが増加したため4か月連続して前年を上回った。輸入は、EU、米国、中国、アジア向けが増加したため3か月連続して前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を上回った。

雇用関係では、新規求人数、有効求人倍率ともに前年を上回った。

また、常用労働者数、一人当たり名目賃金および所定外労働時間は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を下回った。

兵庫C I及び兵庫D Iから見た県内の景気動向

3月の兵庫C Iは、先行指数100.9、一致指数108.3、遅行指数99.0となった。

3月の兵庫D Iは、先行指数42.9%、一致指数75.0%、遅行指数56.3%となった。

兵庫C Iは、先行指数は5か月ぶりに前月差減、一致指数は2か月ぶりに前月差減、遅行指数は3か月ぶりに前月差減となった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が9か月ぶりに50%を下回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、悪化を示している。」としている。

*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

4月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は103.8、前月比6.8%増。出荷指数は104.2、同4.9%増。在庫指数は113.0、同0.4%減。在庫率は123.0、同0.4%増。生産指数、出荷指数はともに2か月ぶりに増加、在庫指数は4か月ぶりに減少した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比2.3%増で3か月連続で増加、出荷は同1.8%増で3か月連続で増加、在庫は同0.3%減で6か月連続して減少した。

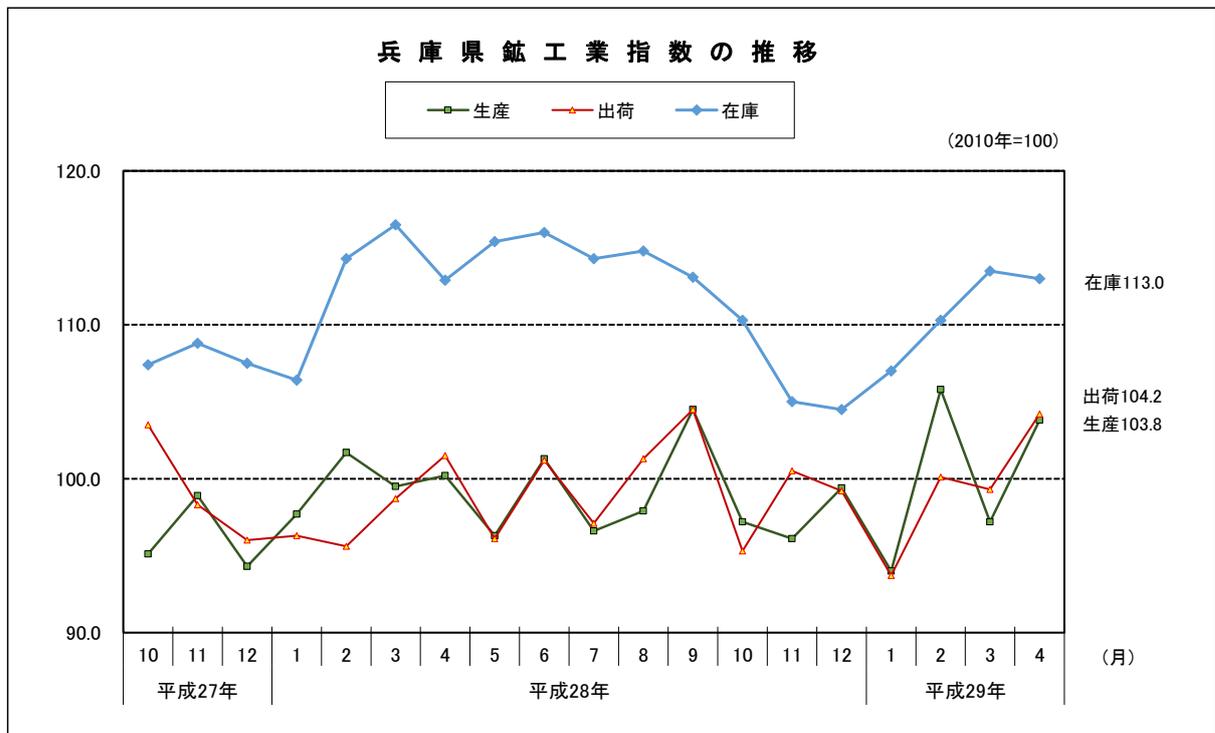
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、「情報通信機械工業」(ノート型パソコン等)が37.9%、「鉄鋼業」(亜鉛めっき鋼板等)が15.4%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(一般用蒸気タービン等)が13.5%、「電気機械工業」(リチウムイオン蓄電池等)が6.5%、「輸送機械工業」(旅客車等)が5.8%、「金属製品工業」(ガス温水給湯暖房機等)が1.9%、「窯業・土石製品工業」(ほうろう鉄器製品等)が0.1%各々増加し、「食品工業」(ビール類等)が2.3%、「化学工業」(自動車排気ガス浄化用触媒等)が5.8%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「持ち直しの動きがみられる。」とした。

4月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	原 指 数		
		対前月比 増減 (%)	原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	103.8	6.8	97.7	2.3
出 荷	104.2	4.9	97.2	1.8
在 庫	113.0	▲ 0.4	109.6	▲ 0.3
在 庫 率	123.0	0.4	114.1	▲ 6.2

資料：兵庫県企画県民部統計課



4月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業種	指数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	109.2	15.4	上昇	亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼、普通鋼鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)
			低下	鍛鋼品、鉄系鍛工品、冷間ロール成型軽量形鋼、ブリキ
金属製品 工業	91.5	1.9	上昇	ガス温水給湯暖房機、ガス風呂がま、ガス湯沸器、PC鋼より線
			低下	うす板ばね、超硬チップ、橋りょう、ねじり棒ばね
はん用・生産 用・業務用 機械工業	89.3	13.5	上昇	一般用蒸気タービン、蒸気タービン部品、反作用機器、ショベル系掘削機械
			低下	ポンプ、機械式駐車装置、自動調整弁、熱交換器
電気機械 工業	131.8	6.5	上昇	リチウムイオン蓄電池、一般用エンジン発電機、電磁クラッチ、超音波応用装置
			低下	一般用タービン発電機、開閉制御装置、工業用計測制御機器、電力変換装置
情報通信 機械工業	143.7	37.9	上昇	ノート型パソコン、携帯電話、テレメータ・テレコントロール、レーダ装置
			低下	カーナビゲーション、無線位置測定装置、入出力装置、ガス警報器
輸送機械 工業	144.1	5.8	上昇	旅客車、機関部品、特殊自動車、懸架制動装置部品
			低下	発動機部品、船用ディーゼル機関、駆動伝導・操縦装置部品、内燃機関電装品
窯業・土石 製品工業	105.1	0.1	上昇	ほうろろ鉄器製品、遠心力鉄筋コンクリート管、せつこうボード、タイル
			低下	セメント、ファインセラミックス(構造材)、道路用コンクリート製品、複層ガラス
化学工業	105.2	▲ 5.8	上昇	塩化ビニル樹脂、シンナー、溶剤系合成樹脂塗料、酸素
			低下	自動車排気ガス浄化用触媒、化粧品、医薬品、水系合成樹脂塗料
食料品工業	92.5	▲ 2.3	上昇	清酒、精米、しょうゆ、肉製品
			低下	ビール類、パン類、即席めん、めん類

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会が発表した5月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比3.2%減の117億70百万円と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

全体の3割を占める婦人服が低調だったのが響いた。前月の気温が高めに推移した結果、初夏物の需要を先食いしたことも要因という。

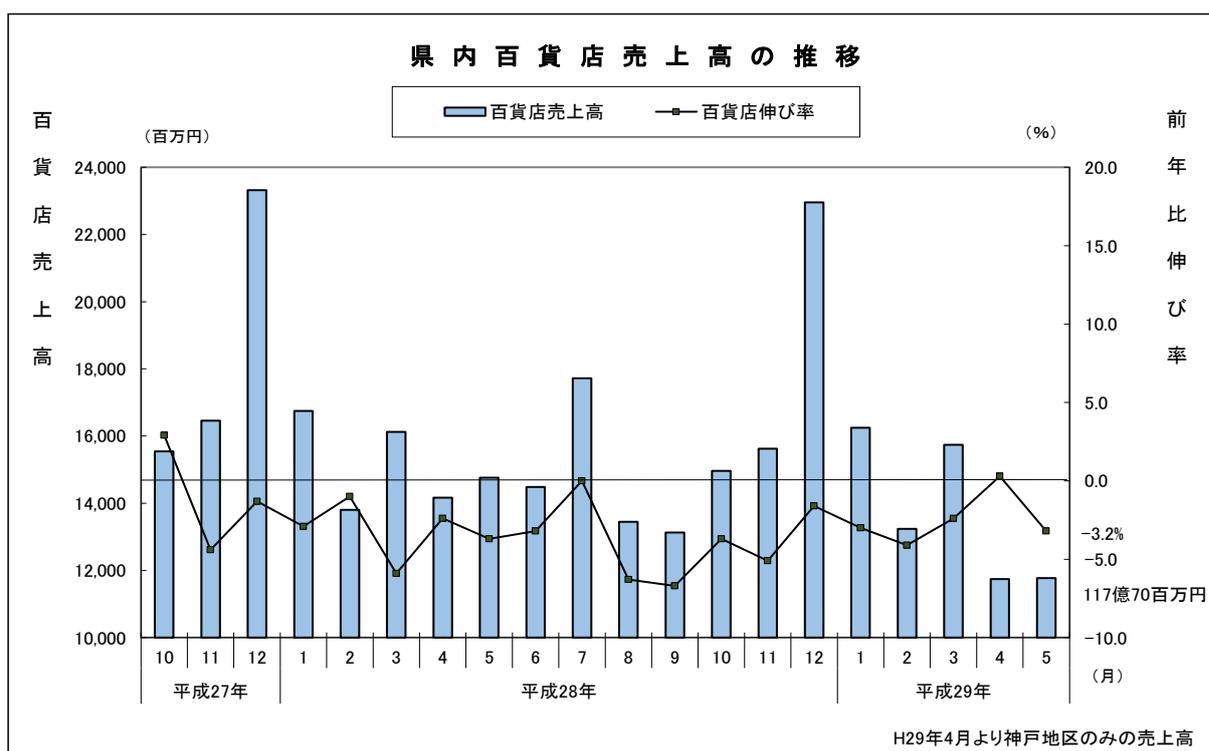
一方、雑貨のうち化粧品は紫外線対策商品などがけん引して7.2%増。食料品では大型連休の消費が順調だった総菜が1.5%、菓子が0.9%それぞれ伸びたが、魚介類をはじめとした生鮮品は3.5%落ち込んだ。

5月の神戸地区の百貨店売上高

品目	売上高	前年同月比
紳士服・洋品	621	▲ 2.5
婦人服・洋品	3,563	▲ 6.1
子供服・洋品	350	▲ 3.0
その他衣料品	206	6.8
身のまわり品	1,130	0.1
雑貨	1,976	▲ 2.8
家庭用品	423	▲ 6.5
食料品	3,082	▲ 1.1
食堂・喫茶	294	▲ 4.7
サービス	58	▲ 0.5
その他	63	▲ 7.1
計	11,770	▲ 3.2

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

資料：日本百貨店協会



【個人消費】『新車登録』

県内5月の乗用車新車登録台数は12,649台、前年同月比12.9%増と8か月連続して前年同月の実績を上回った。

5月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,772台(前年同月比1.4%減)、小型乗用車は3,610台(同11.8%増)、軽乗用車は4,267台(同36.0%増)、乗用車合計で12,649台(同12.9%増)となった。

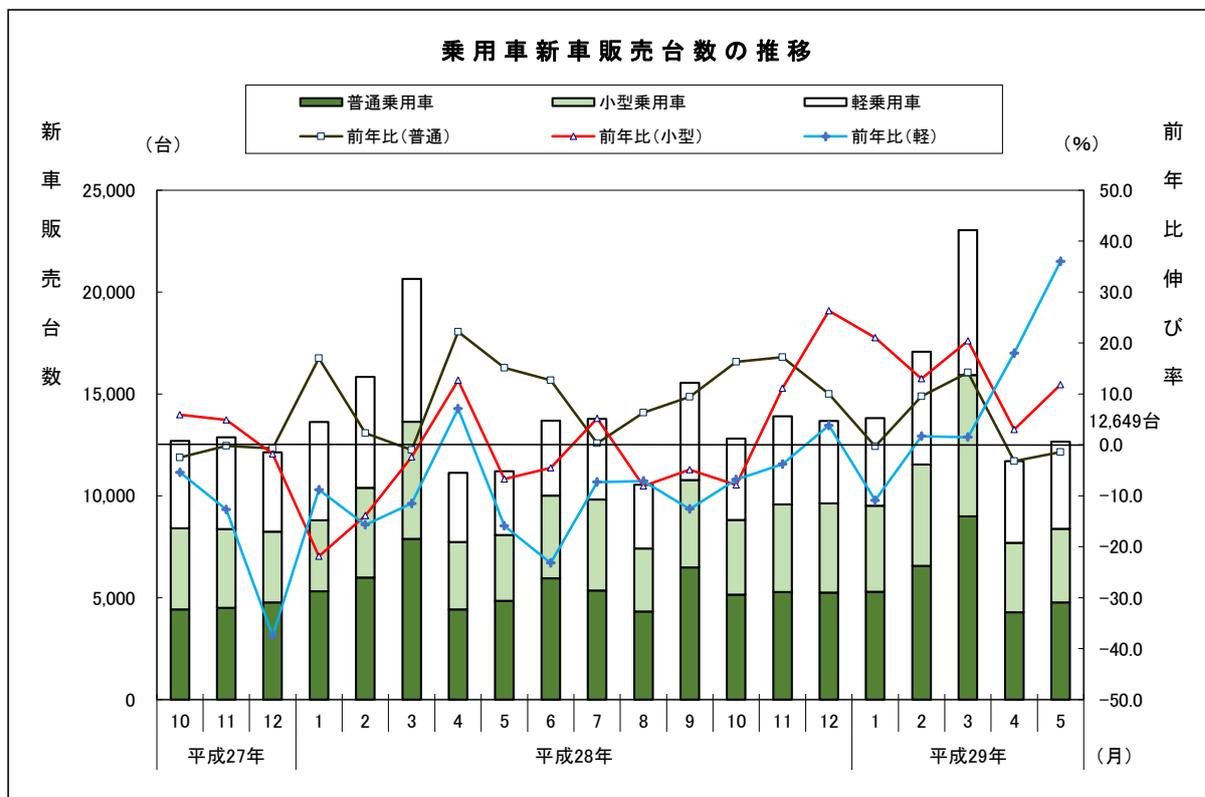
また貨物車等では、普通貨物車は325台(前年同月比3.3%減)、小型貨物車は569台(同0.5%減)、軽貨物車は1,067台(同5.2%増)、バスは32台(同14.3%増)となった。

5月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,772	▲ 1.4	112,037	8.3
小型乗用車	3,610	11.8	94,899	4.9
軽乗用車	4,267	36.0	105,446	29.2
乗用車合計	12,649	12.9	312,382	13.4
普通貨物車	325	▲ 3.3	10,773	▲ 3.2
小型貨物車	569	▲ 0.5	18,954	5.5
軽貨物車	1,067	5.2	29,609	12.9
貨物車合計	1,961	2.0	59,336	7.3
バス	32	14.3	849	9.5
登録車総計	14,642	11.3	372,567	12.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が6月12日に発表した機械受注統計によると、平成29年4月実績は以下のとおり。

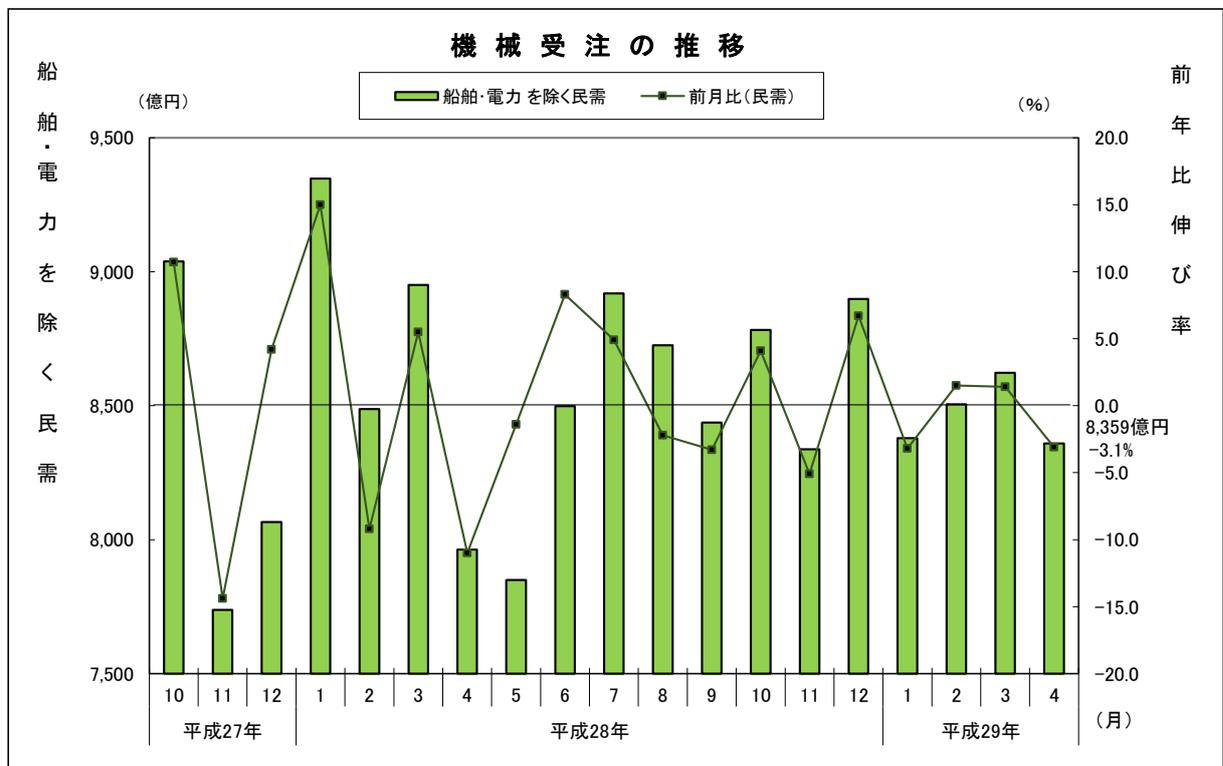
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成29年3月前月比1.3%増の後、4月は同2.7%増の2兆2,966億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月前月比1.4%増の後、4月は同3.1%減の8,359億円となった。

内訳をみると、製造業は同2.5%増の3,618億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同5.0%減の4,715億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、繊維工業(93.5%増)、その他輸送用機械(44.6%増)、情報通信機械(34.9%増)、金属製品(30.8%増)、電気機械(25.0%増)、業務用機械(18.0%増)、「その他製造業」(15.7%増)、窯業・土石製品(15.2%増)、造船業(9.2%増)、鉄鋼業(9.0%増)、はん用・生産用機械(8.8%増)、石油製品・石炭製品(7.1%増)、自動車・同付属品(5.1%増)、パルプ・紙・紙加工品(3.2%増)等の14業種で、化学工業(6.4%減)、食品製造業(9.2%減)、非鉄金属(91.8%減)等の3業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、農林漁業(31.8%増)、リース業(14.5%増)、運輸業・郵便業(10.7%増)、通信業(8.2%増)、電力業(5.8%増)、卸売業・小売業(0.4%増)等の6業種で、情報サービス業(7.1%減)、「その他非製造業」(18.5%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(22.2%減)、建設業(31.8%減)、金融業・保険業(38.5%減)、不動産業(51.3%減)等の6業種は減少となった。



機 械 受 注 統 計 (平成 29 年 4 月分)

	2016年 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	2017年 1～3月 実績	4～6月 見通し	2017年 1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	64,685 (-5.3) [-9.6]	63,964 (-1.1) [-9.0]	72,530 (13.4) [0.8]	66,798 (-7.9) [-4.7]	66,168 (-0.9) [-1.3]	22,369 (-10.0) [8.6]	22,075 (-1.3) [-0.9]	22,355 (1.3) [-11.9]	22,966 (2.7) [2.0]
民 需	29,645 (-11.5) [-6.1]	30,395 (2.5) [0.9]	33,701 (10.9) [7.3]	28,841 (-14.4) [-12.1]	28,862 (0.1) [-5.0]	9,220 (-23.2) [-11.3]	10,459 (13.4) [-9.6]	9,163 (-12.4) [-13.7]	9,287 (1.4) [-2.4]
〃 (Ex 船・電)	24,418 (-6.4) [-6.5]	25,771 (5.5) [6.5]	25,859 (0.3) [3.6]	25,507 (-1.4) [-1.0]	24,007 (-5.9) [-6.8]	8,379 (-3.2) [-8.2]	8,505 (1.5) [5.6]	8,623 (1.4) [-0.7]	8,359 (-3.1) [2.7]
製 造 業	10,321 (-8.5) [-12.9]	10,520 (1.9) [-0.5]	10,800 (2.7) [3.5]	10,346 (-4.2) [-6.8]	10,227 (-1.1) [-5.6]	3,309 (-10.8) [-22.0]	3,508 (6.0) [9.5]	3,529 (0.6) [-4.9]	3,618 (2.5) [9.8]
非製造業 (Ex 船・電)	14,462 (-3.5) [-1.0]	15,353 (6.2) [11.8]	15,202 (-1.0) [3.3]	15,206 (0.0) [3.1]	13,743 (-9.6) [-8.2]	5,076 (0.7) [5.7]	5,166 (1.8) [2.7]	4,964 (-3.9) [2.2]	4,715 (-5.0) [-2.1]
官 公 需	7,028 (-12.8) [-14.6]	7,610 (8.3) [-6.4]	8,639 (13.5) [37.8]	8,475 (-1.9) [-11.4]	7,323 (-13.6) [3.9]	3,546 (20.4) [64.1]	2,292 (-35.4) [-5.0]	2,637 (15.0) [-24.1]	2,365 (-10.3) [1.9]
外 需	25,157 (6.7) [-13.6]	23,000 (-8.6) [-21.7]	26,571 (15.5) [-12.9]	25,977 (-2.2) [8.0]	26,273 (1.1) [1.6]	8,806 (3.2) [25.9]	8,709 (-1.1) [11.3]	8,462 (-2.8) [-2.6]	9,932 (17.4) [5.9]
代 理 店	3,287 (-6.8) [6.3]	3,533 (7.5) [10.1]	3,529 (-0.1) [4.8]	3,608 (2.2) [2.9]	3,463 (-4.0) [5.3]	1,080 (-10.4) [-6.6]	1,284 (18.9) [8.3]	1,244 (-3.1) [5.8]	1,254 (0.8) [10.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工総数は2,976戸(前年同月比1.4%減)となり前年を下回り、前月比では573戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が803戸(前年同月比11.7%減)、「貸家」が925戸(同27.6%減)、「分譲住宅」が1,209戸(同45.3%増)となった。

4月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

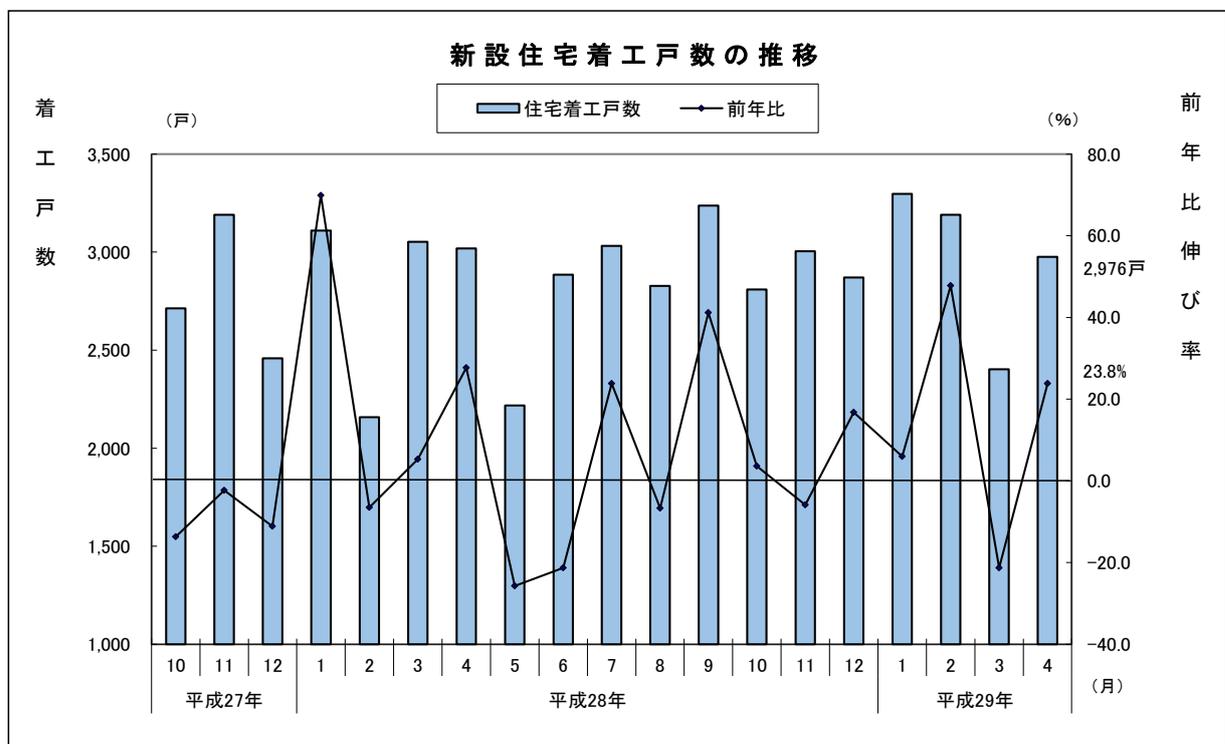
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	803	▲ 11.7	23,751	0.8
・分譲住宅	1,209	45.3	23,708	2.9
貸家系・貸家	925	▲ 27.6	36,194	1.9
・給与住宅	39	3800.0	326	9.4
総数	2,976	▲ 1.4	83,979	1.9

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

4月の地域別着工戸数 (単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	770	537	339	467	151	523	36	45	52	56	2,976
前月比	45.8	19.6	-0.6	23.9	2.0	24.5	-52.0	73.1	205.9	154.5	23.8

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

5月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は227件で前年同月比21.5%の減少、請負金額は278億3百万円で前年同月比1.8%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比119.4%、「兵庫県」同35.8%、「神戸市を除く市町」同13.7%の増加となったが、「神戸市」同35.9%、「その他の団体」同43.8%、「国」同74.4%の減少となったため、前年同月比1.8%の減少となった。

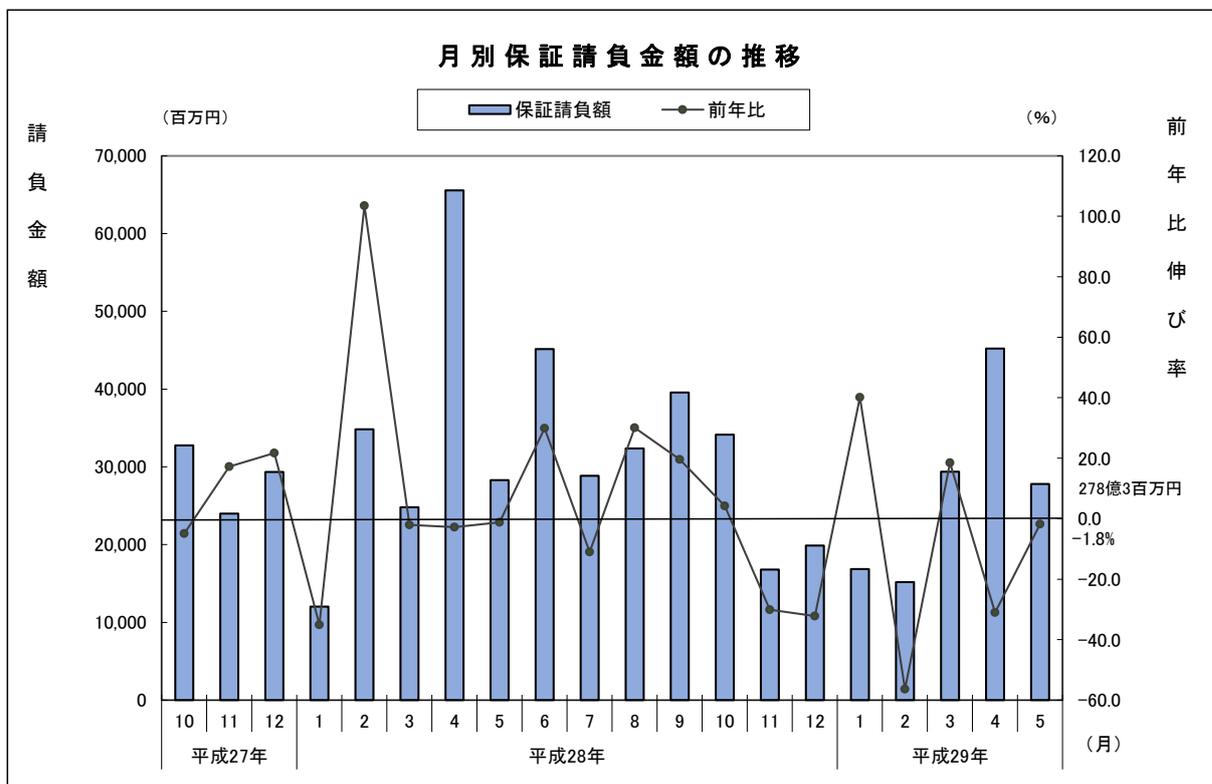
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比113.7%増)、丹波(同106.1%増)、北播磨(同84.1%増)、阪神南(同71.9%増)、中播磨(同65.5%増)、東播磨(同51.3%増)、阪神北(同42.0%増)、西播磨(同15.3%増)が増加したが、神戸市(同26.0%減)、但馬(同88.4%減)が減少したため、前年同月比1.8%の減少となった。

5月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	19(▲24.0)	1,786(▲74.4)	
独立行政法人等	9(12.5)	7,599(119.4)	28-武庫川団地23号棟他4棟外壁その他修繕工事他3件
兵庫県	77(▲28.0)	8,738(35.8)	道路防災安第8001-0-002号(主)篠山山南線川代道路川代2号、3号トンネル建設工事他2件
神戸市	14(▲33.3)	2,206(▲35.9)	27C5-006西河原1号雨水幹線他築造工事(その1)
神戸市を除く市町	93(▲17.0)	5,907(13.7)	名古屋斎場大規模改修工事他1件
その他の団体	15(▲6.2)	1,564(▲43.8)	
合計	227(▲21.5)	27,803(▲1.8)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成 29 年 5 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 6,933 億円、前年同月比 13.5%の増加で、総額ベースで 4 か月連続して増加となった。輸出は音響・映像機器の部分品などが減少したものの、原動機、電池などが増加した。一方、輸入は家庭用電気機器などが減少したものの、たばこ、非鉄金属などが増加した。

輸出は 4,174 億円(前年同月比 12.9%増)と 4 か月連続して増加した。

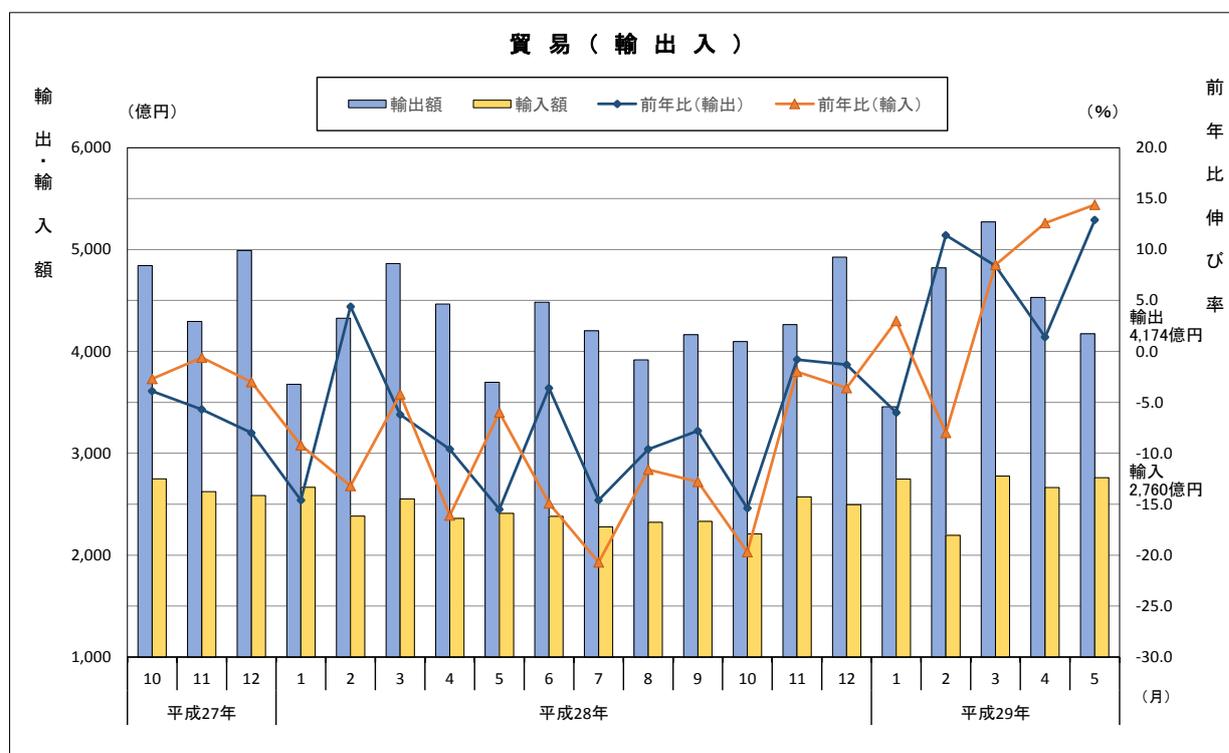
主要品目では、プラスチック(前年同月比 7.0%増、4 か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(同 2.6%増、2 か月連続プラス)、原動機(同 51.2%増、5 か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同 28.6%増、5 か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比 5.4%減、2 か月連続マイナス)が減少したが、米国(同 39.1%増、4 か月連続プラス)、中国(同 18.5%増、6 か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同 12.6%増、4 か月連続プラス)が増加した。

輸入は 2,760 億円(前年同月比 14.4%増)と 3 か月連続して増加した。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比 17.1%増、3 か月連続プラス)、たばこ(同 92.4%増、5 か月連続プラス)、有機化合物(同 11.5%増、3 か月連続プラス)、非鉄金属(同 75.4%増、7 か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比 23.4%増、4 か月連続プラス)、米国(同 14.0%増、3 か月連続プラス)、中国(同 9.5%増、3 か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同 8.0%増、3 か月連続プラス)が増加した。



【物 価】『消費者物価』

5月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.5(2015年=100)となり、前月比0.3%の増加、前年同月比は0.0%となった。生鮮食品を除く総合指数は100.5となり、前月比0.3%の増加、前年同月比0.1%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く指数は101.0となり、前月比0.3%の増加、前年同月比0.0%となった。

前月からの動きを見ると、家庭用耐久財などの減少により「家具・家事用品」が1.7%減少した。

しかし、教養娯楽サービスなどの増加により「教養娯楽」が2.3%、電気代などの増加により「光熱・水道」が1.6%、衣料などの増加により「被服及び履物」が0.4%、医薬品・健康保持用摂取品などの増加により「保健医療」が0.3%と増加した結果、総合指数では0.3%の増加となった。

5月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.5	101.3	100.4	94.9	96.7	103.6	100.4	98.2	102.3	103.0	101.9	100.5	101.0
前月比	0.3	0.0	0.0	1.6	▲1.7	0.4	0.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.3	0.3
前年同月比	0.0	0.2	▲0.3	0.5	▲4.2	▲1.3	▲0.5	▲0.6	1.0	1.9	0.0	0.1	0.0

(注)2015年=100

資料：兵庫県統計課

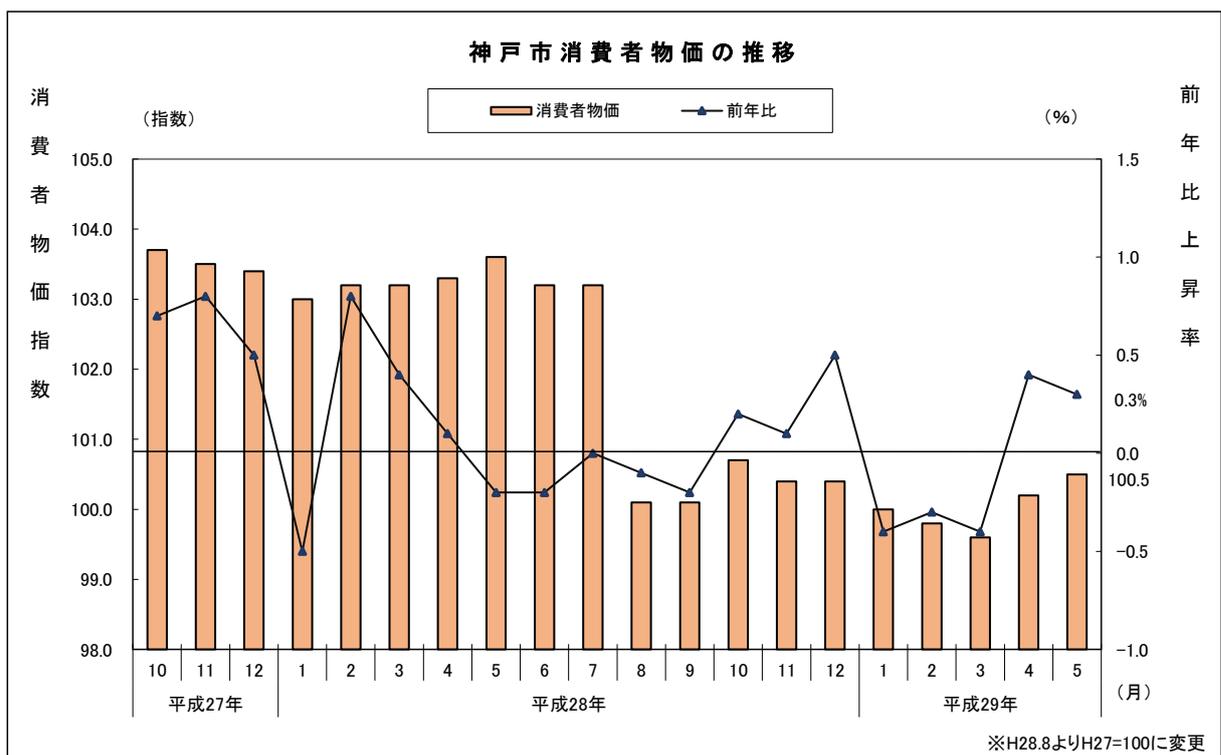
○対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 3.6%)・・・宿泊料

電気代 (+ 2.7%)・・・電気代

○対前月比値下がりした主な品目

家庭用耐久財 (▲ 3.5%)・・・電気掃除機、ルームエアコン



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が6月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2017年5月の企業物価指数は次のとおり。

5月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

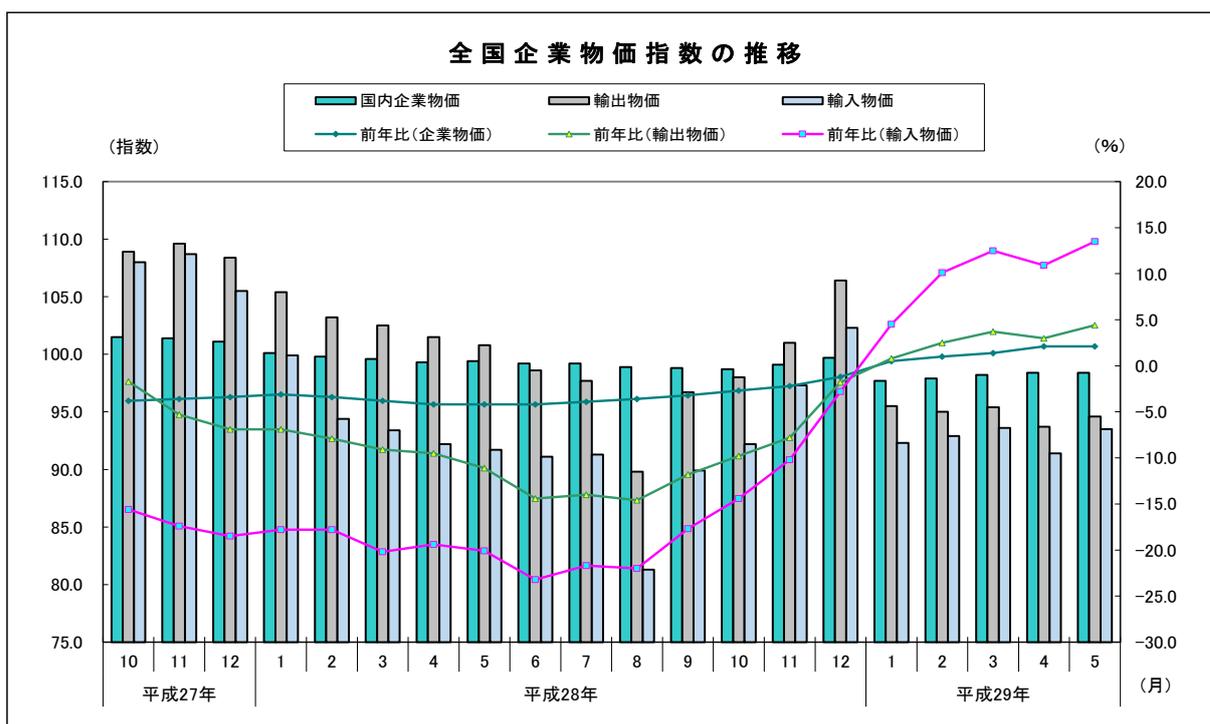
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	98.4	0.0	2.1
輸 出 物 価	94.6	1.0	4.4
輸 入 物 価	93.5	2.2	13.5

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、非鉄金属（前月比0.5%減<銀地金など>）、生産用機器（同0.8%減<掘さく機など>）、スクラップ類（同8.1%減<鉄くずなど>）、石油・石炭製品（同2.5%減<ガソリンなど>）等が減少したが、電力・都市ガス・水道（同2.7%増<産業用特別高圧電力など>）、鉄鋼（同0.4%増<普通鋼鋼管など>）、金属製品（同0.4%増<金属製管継手など>）、化学製品（同0.2%増<合成ゴムなど>）等が増加し、円ベースでは前月比0.0%（前年同月比2.1%増）となった。

輸出物価は、化学製品（前月比0.2%減<スチレンモノマーなど>）、金属・同製品（同0.5%減<熟延広幅帯鋼など>）等が減少したが、はん用・生産用・業務用機器（同1.3%増<ポンプなど>）、電気・電子機器（同1.5%増<モス型メモリ集積回路など>）、輸送用機器（同1.3%増<普通乗用車（ガソリン車）など>）等が増加し、円ベースでは前月比1.0%の増加（前年同月比4.4%増）となった。

輸入物価は、金属・同製品（前月比6.0%増<鉄鉱石など>）、石油・石炭・天然ガス（同2.9%増<液化天然ガスなど>）、輸送用機器（同1.9%増<普通乗用車（ガソリン車）など>）、電気・電子機器（同1.3%増<記録メディアなど>）、飲食料品・食料用農水産物（同1.3%増<大豆など>）、化学製品（同0.4%増<メタノールなど>）、はん用・生産用・業務用機器（同0.4%増<医療用機器など>）等が増加し、円ベースでは前月比2.2%の増加（前年同月比13.5%増）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内4月の新規求人数(全数)は、33,666人(前年同月比4.3%増)で、19か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は97,174人(同7.4%増)で84か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比6.9%増で6か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同1.8%増で16か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同1.4%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比19.7%増)、運輸業、郵便業(同1.3%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同2.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同8.2%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同28.9%増)、医療、福祉(同5.6%増)、サービス業(同8.5%増)は増加したが、製造業(同6.0%減)、卸売業、小売業(同0.7%減)は減少した。

(2) 求職状況

4月の新規求職申込件数(全数)は23,864件(前年同月比3.2%減)で8か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、81,669人(同5.5%減)で83か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比6.0%減で8か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.9%増で2か月連続して前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比25.2%減で5か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比1.0%減で4か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同16.6%減で16か月連続、自己都合離職者は同0.6%減で17か月連続して前年を下回り、自営・他は同3.9%減で3か月連続して前年を下回った。無業者は同15.9%減で64か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、15,636人(前年同月比8.4%減)で51か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

4月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.85倍(前月比0.05ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については1.26倍で前月を0.03ポイント上回った。

(4) 失業者の状況

4月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.8%、完全失業者数(原数値)は197万人(前年同月比28万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は2.9%(前年同月比1.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は31万人(前年同月比11万人減)であった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
29年4月	33,666	2,432	4,004	299	1,698	4,012	153	803	886	3,778	1,414	9,035	4,175
前年同月比	4.3	19.7	▲6.0	24.1	1.3	▲0.7	▲12.6	2.9	2.1	8.2	28.9	5.6	8.5

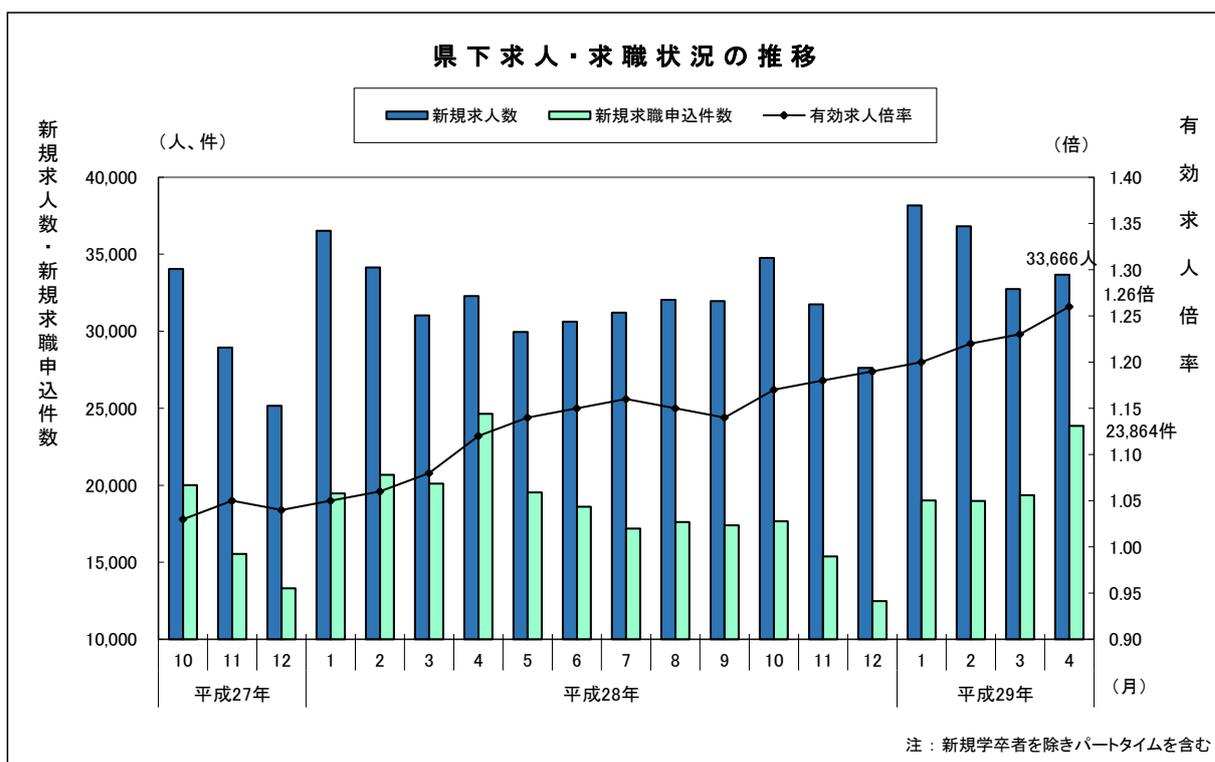
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	16/4-6	16/7-9	16/10-12	17/1	17/2	17/3	17/4
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	1.13	1.15	1.18	1.20	1.22	1.23	1.26
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	8.2	7.5	7.1	4.5	7.8	5.5	4.3
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	▲6.8	▲9.1	▲5.6	2.0	▲2.1	0.9	▲2.0
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.9	0.5	0.6	0.5	0.4	▲0.1
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.3	0.1	1.5	2.1	1.3	1.7	2.5

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

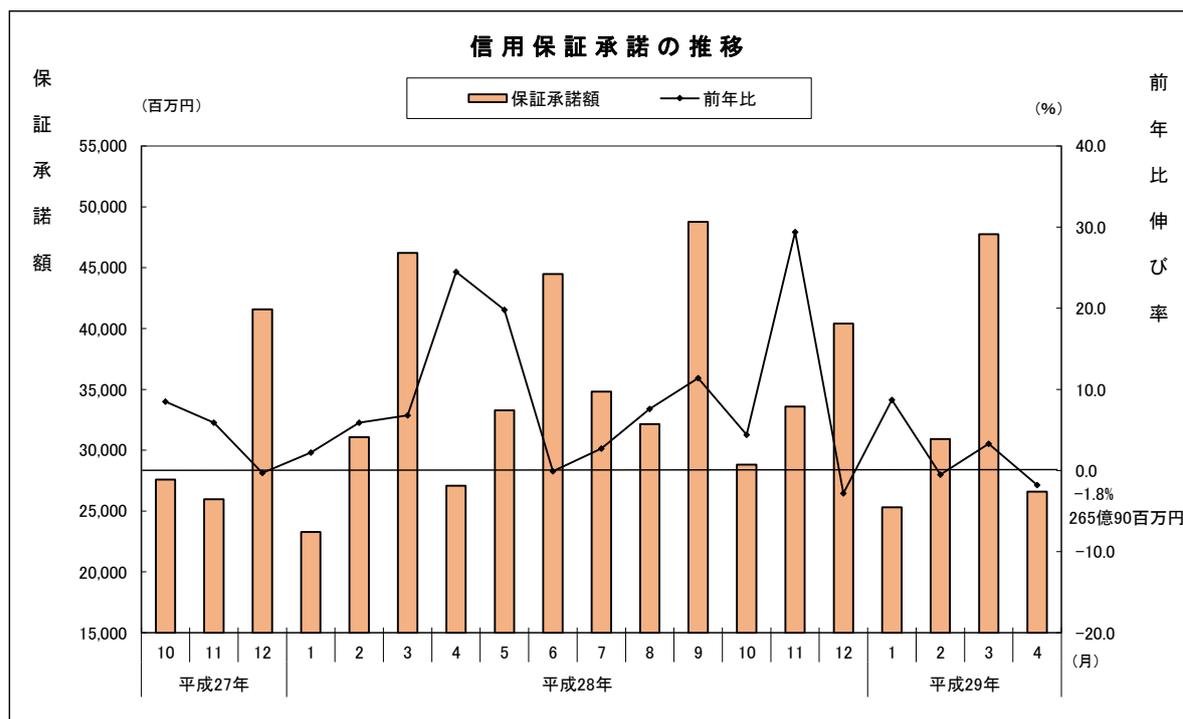
兵庫県信用保証協会による4月の保証承諾実績は、件数で1,816件(前年同月比7.1%増)、金額は265億90百万円(同1.8%減)となり、前年同月実績と比べ、件数で上回り、金額で下回った。

資金使途別では、運転資金25,022百万円(前年同月比1.6%減)、設備資金570百万円(同14.7%減)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに下回った。

業種別(金額ベース)では、「建設業」8,166百万円(前年同月比23.0%増)、「製造業」4,544百万円(同8.9%増)、「小売業」3,770百万円(同6.5%増)、「運送・倉庫業」1,458百万円(同1.0%増)等で前年同月を上回り、「卸売業」3,667百万円(同8.9%減)、「不動産業」1,231百万円(同21.1%減)、「飲食店」607百万円(同29.2%減)、「サービス業」2,927百万円(同36.7%減)等で前年同月を下回った。

4月末の保証債務残高は、91,764件(前年同月比2.4%減)、1兆738億77百万円(同0.3%増)となった。

一方、同月の代位弁済は、132件(前年同月比17.5%減)、16億39百万円(同17.5%減)となった。



【金 融】

4月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

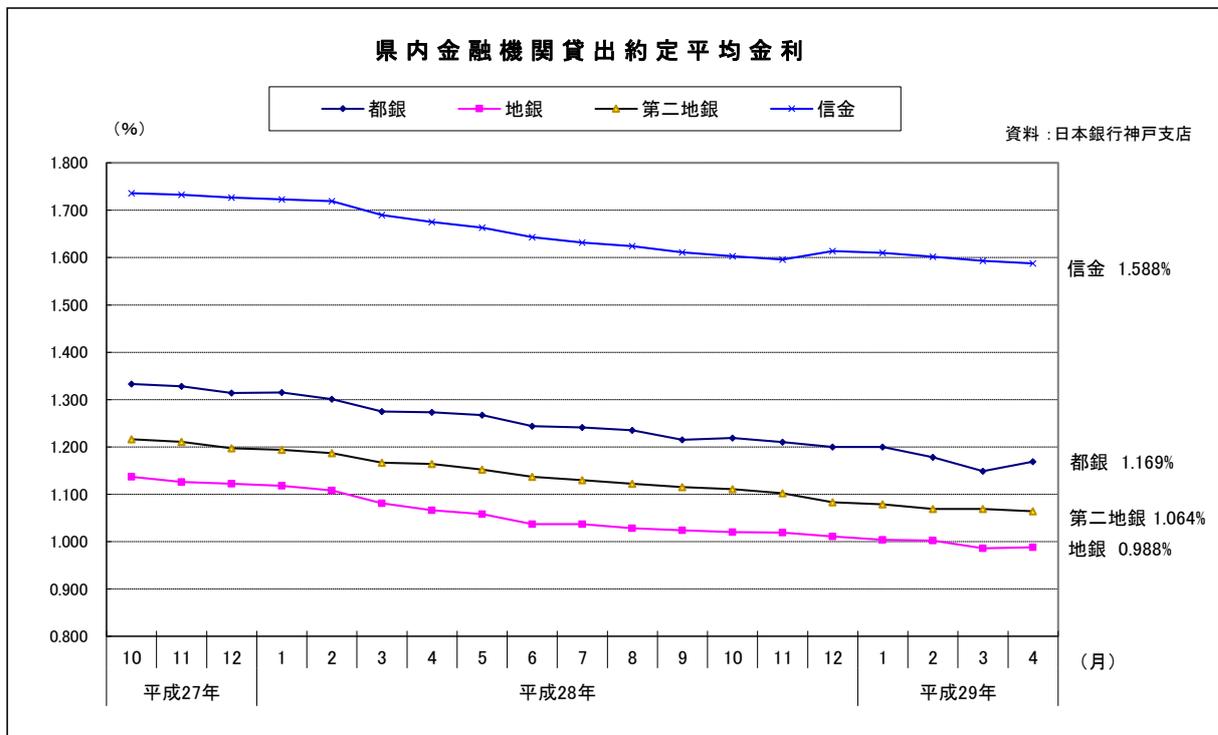
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	163,194	3.6	53,000	0.2
地 方 銀 行	27,861	2.6	26,851	8.4
第 二 地 方 銀 行	34,604	1.8	23,049	2.3
信 用 金 庫	85,713	1.5	39,623	2.2
そ の 他	18,002	1.7	17,512	0.4
計	329,374	2.7	160,035	2.3

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

4月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.7%増)

4月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比2.3%増)

4月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、僅かながら増加した(水準1.266%、前月比+0.006%ポイント)。



【倒 産】

県内5月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は43件で前月比9件（26.47%）の増加、前年同月比18件（72.00%）の増加となり、負債総額は48億4百万円で前月比20億27百万円（72.99%）の増加、前年同月比30億92百万円（180.60%）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が35件（全体の81.4%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が15件（前年同月比7件増）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が26件発生し、全体の60.4%を占めた。

2017年5月の倒産件数は、前年同月及び前月を共に上回り、今年1月の28件から4か月連続して増加基調を辿っている。

一方、負債総額は10億円以上の大型倒産が1件発生したことから金額を押し上げたものの、1億円未満が34件発生するなど当月も規模が小さい倒産が多かった。

倒産件数自体は今年1月より連続で増加しているが、それでも今年5ヶ月間における平均倒産件数は33.6件と昨年1年間の平均倒産件数36.2件を下回っており、まだまだ低調な推移にある。低水準の倒産推移や活況な就職・転職状況を見ると好景気の様相といえるものの、未だ実感する景況感好材料に乏しいのが実情、小規模な倒産が数年来続いていることを踏まえると、景気回復が裾野まで十分浸透しているとは言い難い。今後も倒産が急増することは考えがたいものの、一般消費者に近い業種・業態、また、経営体力を損耗している中小・零細企業への注視が引き続き肝要といえる。

5月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	3	▲2	1	0	建設業	7	9	▲2	7	0
過小資本	1	2	▲1	2	▲1	製造業	6	3	3	2	4
連鎖倒産	3	0	3	1	2	卸売業	3	6	▲3	2	1
赤字累積	7	6	1	1	6	小売業	7	4	3	1	6
販売不振	28	22	6	19	9	情報通信業	2	0	2	1	1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	15	10	5	8	7
その他	3	1	2	1	2	不動産・運輸業他	3	2	1	4	▲1
合計	43	34	9	25	18	合計	43	34	9	25	18

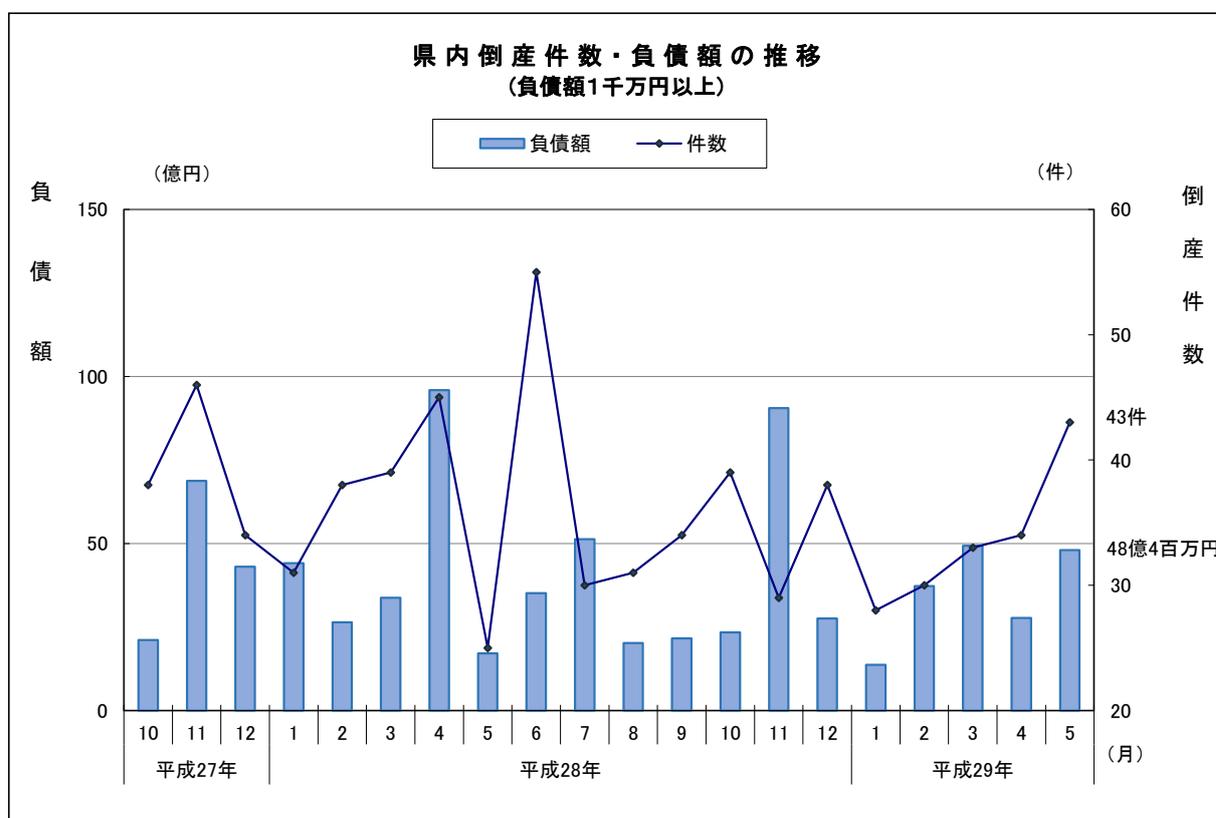
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年 月	総 数	神 戸	阪 神	西 播	東 播	但 馬	丹 波	淡 路
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 1月	31	11	9	5	5	0	0	1
28年 2月	38	14	11	5	6	0	1	1
28年 3月	39	10	17	6	4	0	1	1
28年 4月	45	17	14	7	6	1	0	0
28年 5月	25	10	8	1	3	2	0	1
28年 6月	55	18	18	8	7	3	1	0
28年 7月	30	13	11	5	1	0	0	0
28年 8月	31	11	12	2	4	1	0	1
28年 9月	34	12	11	3	7	0	1	0
28年 10月	39	17	10	4	8	0	0	0
28年 11月	29	6	11	4	4	1	2	1
28年 12月	38	15	12	4	4	2	0	1
29年 1月	28	8	9	7	4	0	0	0
29年 2月	30	14	9	2	3	1	1	0
29年 3月	33	12	8	4	6	2	0	1
29年 4月	34	14	10	4	3	0	2	1
29年 5月	43	20	14	4	2	2	0	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)
27年 10月	95.1	△ 2.0	98.8	1.4	327	△ 4.9	△ 5.2	2,713	△ 13.7	△ 2.5
11月	98.9	4.0	97.9	△ 0.9	239	17.2	△ 4.6	3,191	△ 2.3	1.7
12月	94.3	△ 5.3	96.2	△ 1.7	293	21.7	△ 4.9	2,458	△ 11.1	△ 1.3
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	120	△ 35.1	△ 4.8	3,110	6.9	0.2
2月	101.7	3.6	93.2	△ 5.2	348	103.5	△ 4.7	2,158	△ 30.6	7.8
3月	99.5	△ 2.1	96.7	3.8	247	△ 2.0	△ 2.1	3,053	41.5	8.4
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	655	23.3	10.6	3,019	27.7	9.0
5月	96.3	△ 4.7	94.7	△ 2.6	283	△ 1.2	1.4	2,218	△ 25.7	9.8
6月	101.3	5.2	96.9	2.3	451	29.9	△ 1.8	2,885	△ 21.3	△ 2.5
7月	96.6	△ 4.6	96.5	△ 0.4	288	△ 11.0	△ 6.9	3,032	23.8	8.9
8月	97.9	2.6	97.8	1.3	323	30.1	12.0	2,828	△ 20.1	2.5
9月	104.5	6.7	98.4	0.6	395	19.6	18.1	3,237	41.2	10.0
10月	97.2	△ 6.9	98.4	0.0	341	4.2	△ 10.0	2,810	3.6	13.7
11月	96.1	△ 0.9	99.9	1.5	167	△ 30.1	△ 5.7	3,004	△ 5.9	6.7
12月	99.4	3.4	100.6	0.7	198	△ 32.2	5.3	2,870	16.8	3.9
29年 1月	94.0	△ 4.9	100.2	△ 0.4	168	△ 40.1	7.1	3,297	6.0	12.8
2月	105.8	12.3	101.7	3.2	151	△ 56.4	10.4	3,190	47.8	△ 2.6
3月	97.2	△ 8.5	99.8	△ 1.9	293	18.5	10.9	2,403	△ 21.3	0.2
4月	103.8	6.8	103.8	4.0	452	△ 31.0	1.7	2,976	23.8	1.9
5月					278	△ 1.8	8.5			
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫県支店			兵庫県住宅宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月か)		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
27年 10月	12,686	△ 1.1	△ 4.0	155	2.9	4.2	4,843	△ 3.9	2,752	△ 2.7
11月	12,871	△ 3.6	△ 7.6	164	△ 4.4	△ 2.6	4,295	△ 5.7	2,625	△ 0.5
12月	12,131	△ 16.7	△ 14.6	233	△ 1.3	0.3	4,991	△ 8.0	2,586	△ 3.0
28年 1月	13,623	△ 4.7	△ 4.4	167	△ 2.9	△ 1.5	3,677	△ 14.6	2,688	△ 9.2
2月	15,837	△ 9.1	△ 7.5	138	△ 1.0	0.5	4,326	4.4	2,383	△ 13.2
3月	20,638	△ 5.2	△ 9.3	161	△ 5.9	△ 2.8	4,863	△ 6.2	2,551	△ 4.2
4月	11,125	9.0	2.2	141	△ 2.4	△ 3.6	4,466	△ 9.6	2,362	△ 16.1
5月	11,207	△ 1.7	△ 1.4	147	△ 3.7	△ 4.8	3,697	△ 15.5	2,410	△ 6.0
6月	13,684	△ 4.4	△ 5.6	144	△ 3.2	△ 3.6	4,484	△ 3.6	2,382	△ 14.9
7月	13,775	△ 0.6	△ 2.2	177	0.0	△ 0.2	4,203	△ 14.6	2,278	△ 20.7
8月	10,542	△ 2.4	2.9	134	△ 6.3	△ 3.6	3,918	△ 9.6	2,322	△ 11.6
9月	15,540	△ 2.2	△ 0.7	131	△ 6.7	△ 3.2	4,165	△ 7.8	2,332	△ 12.8
10月	12,801	0.9	△ 0.2	149	△ 3.7	△ 1.0	4,098	△ 15.4	2,208	△ 19.7
11月	13,901	8.0	8.8	156	△ 5.1	△ 0.3	4,262	△ 0.8	2,572	△ 2.0
12月	13,667	12.7	8.1	229	△ 1.6	△ 1.3	4,926	△ 1.3	2,495	△ 3.6
29年 1月	13,816	1.4	4.4	162	△ 3.0	△ 1.1	3,457	△ 6.0	2,748	3.0
2月	17,070	7.8	8.2	132	△ 4.1	△ 2.7	4,820	11.4	2,194	△ 8.0
3月	23,033	11.6	9.6	157	△ 2.4	△ 0.8	5,271	8.4	2,777	8.5
4月	11,695	5.1	10.4	117.4	0.3	1.1	4,531	1.4	2,664	12.6
5月	12,649	12.9	13.4	117.7	△ 3.2		4,174	12.9	2,760	14.4
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			日本百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)			
	兵庫県 (季調値)	全国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)	神戸市		全国	
							指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
27年 10月	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3	103.8	0.7	103.9	0.3
11月	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8	103.5	△ 0.3	103.5	0.3
12月	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7	103.4	△ 0.1	103.0	0.0
28年 1月	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4	103.0	△ 0.5	103.2	0.3
2月	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9	103.2	0.8	103.2	0.3
3月	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6	103.2	0.4	103.3	△ 0.1
4月	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0	103.3	0.1	103.4	△ 0.3
5月	1.14	1.36	1,061	0.5	98.5	2.2	103.6	△ 0.2	103.6	△ 0.4
6月	1.15	1.37	1,063	0.8	98.2	0.6	103.2	△ 0.2	103.3	△ 0.4
7月	1.16	1.37	1,060	0.5	98.9	1.5	103.2	0.0	99.6	△ 0.4
8月	1.15	1.37	1,057	0.5	98.4	1.5	100.1	△ 0.1	99.7	△ 0.5
9月	1.14	1.38	1,055	0.3	98.9	1.2	100.1	△ 0.2	99.8	△ 0.5
10月	1.17	1.40	1,053	0.0	98.6	1.0	100.7	0.2	100.4	0.1
11月	1.18	1.41	1,053	△ 0.4	99.9	2.0	100.6	△ 0.1	100.4	0.5
12月	1.19	1.43	1,051	△ 0.6	99.6	1.7	100.4	0.2	100.1	△ 0.2
29年 1月	1.20	1.43	1,051	0.0	101.3	1.4	100.0	△ 0.4	100.0	0.4
2月	1.22	1.43	1,045	△ 0.2	100.8	0.3	99.8	△ 0.3	99.8	0.3
3月	1.23	1.45	1,041	△ 0.1	102.7	0.6	99.6	△ 0.4	99.9	0.2
4月	1.26	1.48	1,055	△ 0.3	103.8	1.7	100.2	0.4	100.3	0.4
5月							100.5	0.3		
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額			全国銀行	倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数	
	指数	前年比 (%)	(各期末) (億円)	前年比 (%)	(年%)				神戸 (件)	阪神 (件)
27年 10月	101.5	△ 3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	△ 3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	△ 3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	△ 3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	△ 3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	△ 3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	△ 4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	△ 4.2	155,843	0.9	1.054	25	17	10	8	7
6月	99.2	△ 4.2	156,758	1.3	1.039	55	35	18	18	19
7月	99.2	△ 3.9	157,441	1.7	1.033	30	51	13	11	6
8月	98.9	△ 3.6	156,920	1.5	1.026	31	20	11	12	8
9月	98.8	△ 3.2	158,317	1.5	1.016	34	21	12	11	11
10月	98.7	△ 2.7	157,271	1.2	1.014	39	23	17	10	12
11月	99.1	△ 2.2	157,889	1.7	1.009	29	90	6	11	12
12月	99.7	△ 1.2	159,432	1.6	0.998	38	27	15	12	11
29年 1月	97.7	0.5	158,185	1.4	0.996	28	13	8	9	11
2月	97.9	1.0	158,720	1.9	0.992	30	37	14	9	7
3月	98.2	1.4	163,048	1.2	0.982	33	49	12	8	13
4月	98.4	2.1	160,035	2.3	0.982	34	27	14	10	10
5月	98.4	2.1				43	48	20	14	9
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値